



ジャングルに生い茂るバナナの葉に当たる雨音が妙にリズム感があり、聞き入ってしまう。ある雨が降る日、朝から職場に行ってもすぐには誰も来ない。こうした光景に慣れたものだ。



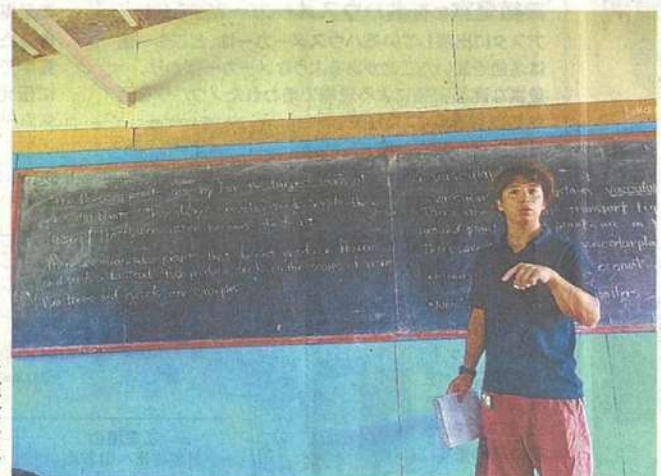
ソロモン諸島
(2017~19年)
丸山健太(32)
島根県海士町

私は2017年6月から19年3月までオーストラリアの北東、南太平洋に浮かぶソロモン諸島という国にJICA海外協力隊員として派遣され、人口5千人ほどの小さなギンという島で活動した。派遣期間中、現

手作り器具で理科授業

地の中高一貫校で、理科の教師として働いた。現地の学校は日本の学校と同じように制服があり、教室があり、黒板もある。

しかし、時間通りに動くという習慣がない。そもそも時計を持っていない。だから、彼らにとっては時間の基準が「太陽の位置」とか



ソロモン諸島の学校で理科の授業をする丸山さん

「おなかの減り具合」というから面白い。授業は教科書の内容を進めていくが、実験器具も

通学路はけもの道で、雨が降ると川のようになり、通れない。しかも、船で通学する生徒も少なくないから、雨が降ると、雨が降ると生徒はほとんど登校しない。面食らったことがある。教科書は学校に1冊ほどしかない。学校に1冊だ。もちろん、生徒は持っていない。授業は教科書の内容を進めていくが、実験器具も

と生徒はほとんど登校しない。面食らったことがある。教科書は学校に1冊ほどしかない。学校に1冊だ。もちろん、生徒は持っていない。授業は教科書の内容を進めていくが、実験器具も